能登半島地震被災者救援募金へのご協力のお願い

民報
おうしゅう
読者版

日本共産党奥州市委員会（委員長　千田美津子）は、１月13日、14日、コープアテルイ（水沢）、サンエー（江刺）の店頭で、能登半島地震の被災者救援募金活動に取り組みました。

○13日　江刺サンエー前での募金活動には江刺の各支部、前沢・衣川・胆沢の支部と菅原明・今野裕文市議など13人が参加し、救援募金を訴えました。２６，４６６円の募金が寄せられました。

○13日　水沢コープアテルイ前では、水沢の各支部、千田美津子委員長、瀬川貞清・佐藤美雪市議など13人参加し、４３，３５５円の募金が寄せられました。

○14日　水沢、コープアテルイ前の募金活動には、水沢の各支部、千田美津子委員長、瀬川貞清・佐藤美雪市議、など18人が参加、７２，９３２円の募金が寄せられました。

「大軍拡、万博よりも人命救助と避難者支援を最優先に！」

「東日本大震災」や「岩手・宮城内陸地震」で.いただいた支援・救援へ恩返しを！」と訴えました。

募金へのご協力、ありがとうございました。

１３日、江刺サンエー前で取り組んだ皆さん

１４日、コープアテルイ前の救援募金活動

発　行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24−2021
Fax 24−2049

【郵便振替】
口座番号　00170-9-140321
加入者氏名
日本共産党災害募金係
※通信欄に「能登半島地震募金」と記入してください。手数料はご負担願います。

一般質問
続　報

物価高騰対策の継続拡充が必要でないか？

今野裕文議員は、令和４年度中、国の地方創生臨時交付金などを活用し、物価上等対策が打たれてきたが、その後も物価高騰が止まらず市民の皆さんのくらし、営業を一層ひっ迫させているとして、物価高騰対策の継続・拡充を求め、倉成淳市長の見解を質しました。

福祉灯油は昨年と同額にしたい

倉成淳市長は、次のように回答しました。

福祉灯油について、県の基準額に１００円を上乗せし昨年（令和４年）と同額にの７０００円としたい。

中小企業等事業継続支援金について、申請者から手続きが煩雑であったとの声が寄せられていることから、同様な事業が行われる際（岩手県で行う）は、手続きの簡略化について県に働きかけたい。

住宅エコリフォーム制度の拡充はについて、継続し普及に努める。

農業分野については、引き続き動向を注視していくと述べるにとどまりました。

粗飼料（輸入牧草等）について　検討したい

農林部長は、畜産分野の粗飼料（輸入牧草等）について、対応がされていないことから、「検討のペースをあげなければならない」と述べました。

福祉部長は、福祉施設への物価高騰対策は12月で終了することから、1月から3月まで「追加支援考えている」と回答しました。

年金で入れる特別養護老人ホームの整備について

今野裕文議員は、年金で入れる特別養護老人ホームの増設を求める声が大きくなっていることから、同施設の増設に踏み込んだ支援が必要だと主張し、第９期介護保険計画（令和６年度から同８年度）にどのように盛り込むのか質しました。

在宅待機者の解消をめざす

倉成淳市長は、奥州市の「在宅で早期入所が必要な入所待機者数」について、令和５年４月１日現在、１１９人になっているとして、「県内の自治体で１番多い人数になっている」ことを明らかにしました。

そして、第９期計画において、在宅待機者の解消をめざして、２３０床程度の増床を検討し、計画作成を進めていることを明らかにしました。

担当課長は、多床室の整備については、ショートステイから転換する３人部屋６部屋に限られると説明しました。